

令和7年度 第1回 能美市特別職報酬等審議会 議事要約	
日 時	令和7年4月7日（月）午後1時30分～
場 所	能美市役所 1階 大会議室
議 題	能美市議会議員の報酬について
出席者	北出秀樹委員、村上信男委員、平田美実委員、上田美智子委員、 角越茂樹委員、前田英夫委員、曾根達也委員
会議形態	非公開
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委員紹介 3. 委嘱状交付 4. 市長あいさつ 5. 会長選出 6. 会長挨拶 7. 諮問書提出 8. 審議 9. 閉会
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の互選により、北出委員が審議会の会長に選出された。 ・委員の協議により、本審議会は非公開（審議内容の要約を公開）とする。 ・議員報酬を引き上げる方向で概ね了承。具体的な額については次回審議。 ・第2回審議会 令和7年4月21日（月） 午後1時30分～
議 事	<p>事務局による資料説明の後、質疑応答をふまえ、各委員が意見交換を行った。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 費用弁償は金沢市と能美市だけが支給されている。決算額を割り返すと1か月あたり約9,000円になる。その点も今後、勘案する必要がある。 ・ 報酬を上げることで、議員活動の中でさらにどういうことをしたいと考えているのか。 ⇒（事務局説明） 定例会、臨時会の慎重審議や、委員会の調査研究に加えて、さらに議会改革を推し進めたい。議員活動を知ってもらうための広報力強化の一環として議会報告会を、政策提言の取り組みとして各種団体との意見交換会や議員間討議に取り組んでいる。議員の平均年齢が高くなってきている一方で、市民ニーズの多様化・複雑化、施策の専門化に耐えうる議員の資質向上も求められ、若い世代や様々な職種にある人を取り込むことが必要。その魅力の一つとして議員報酬がある。 ・ 例えば人口規模でいうと、能美市と似通っているのは野々市市。長年、議員の報酬額が改定されていないため、適正額の検討があってもよいと思うが、人口規模の大きな小松、白山と比較して、その水準に追いつこうというのではなく、野々市と比較しての議論ではないかと考えている。

- ・ 合併以来、報酬が増えていないことが驚きだ。議員も生活していかなければならないし、議員は名誉職だと思う人も多いかもしれないが、実際はそうではなく、とても大変なのではないかと思う。今後の能美市を託していくために、報酬引き上げは必要ではないかと思う。
- ・ 七尾市、加賀市辺りと比較する必要があるのではないか。
- ・ 七尾市クラスと同等にすればよいと感じた。いい仕事をしてほしいとも思うし、報酬を上げることはよいと思う。
- ・ 人口規模だけではなく、財政面の視点も必要だと思う。
⇒（事務局説明）
能美市は小松、白山市と財政力指数において似通っている。ラスパイレス指数は他市と比較すると若干低いが、合併当初から徐々に上がってきている。職員の平均年齢の若さとも関連している。
- ・ 引き上げに賛成だ。引き上げることで、会社員の平均年収を上回ることになり、若い世代に対してもアピールできると思う。